～音楽が紡ぐ"縁"～

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第395回定期演奏会　THE 395TH SUBSCRIPTION CONCERT

指揮
シルヴァン・カンブルラン
Conductor
Sylvain Cambreling

2019.11.29（金）
18:45開演〔17:45開場〕
Friday November 29, 2019 Start 18:45[Open 17:45]

広島文化学園HBGホール
広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ハイドン（没後210年）：**交響曲第102番変ロ長調**
F.J.Haydn：Symphony No.102 in B-flat minor Hob.Ⅰ:102

ベルリオーズ（没後150年）：**幻想交響曲**
Berlioz：Symphonie Fantastique Op.14（H.48）

Concertmaster：佐久間 聡一 Soichi Sakuma

チケット（税込／全席指定）
S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円（学生券1,500円）
※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。（広響事務局のみで取り扱い）

チケット発売日
一般プレイガイド 2019年9月29日（日）／広響事務局 2019年9月30日（月）

プレイガイド
エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン
アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場
ローソンチケット（Lコード:62538）・チケットぴあ（Pコード:142-487）・中国新聞社読者広報部
中国新聞販売所（取り寄せ）・広響事務局

主　催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助　成／文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛／広島トヨペット

後　援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

広響公式ホームページ▶
HP：http://hirokyo.or.jp

beyond 2020

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL：082-532-3080

交響曲の革新

交響曲の父ハイドンと、交響曲の分野に新たな可能性を示したベルリオーズ、現代を生きる我々から見ると、保守派と革新派のような印象を受けますが、実はハイドンの交響曲は常に新しさを追い求めた間違いなく「革新派」です。またハイドンと言えば、「火事」や「うかつ者」「熊」「V字」などユニークな名前がつけられていることで知られますが、近年の研究において、この第102番も本来ならば「奇跡」とつけられるはずの名作で、ロンドンでの初演を終え、ステージに現れたハイドンを一目見ようと詰め掛けた客の抜けた空席にシャンデリアが落下し、誰も怪我をしなかったことから、皆が「奇跡だ！」と言ったと伝えられています。ところがこのエピソードが間違って第96番の初演での出来事として伝えられまい、現在に至っています。
指揮に迎えるシルヴァン・カンブルランも読売日本交響楽団での下野の「縁」により、今回広響への初客演が決まりました。それぞれの時代における交響曲の革新を感じながらお聴きください。

©Marco Borggreve

指揮／シルヴァン・カンブルラン
Conductor ／ Sylvain Cambreling

フランス出身の指揮者シルヴァン・カンブルランは溢れんばかりのアイディアを持つ音楽家である。挑戦的で色彩豊か、ドラマティックで聴衆を一瞬で魅了する。その一方で、彼の独創性は音楽学の完璧なまでの知識に根ざしている。
2018/2019シーズンの初めにハンブルク交響楽団の首席指揮者に就任。2010年から2019年まで読売日本交響楽団の常任指揮者を務め、2019年4月に桂冠指揮者に就任。
シュトゥットガルト歌劇場音楽総監督（2012-2018）、ベルギー王立モネ劇場音楽監督（1981-1991）、フランクフルト歌劇場音楽監督（1993）を歴任。ザルツブルク音楽祭での「ペレアスとメリザンド」「トロイアの人々」やフランクフルトでの「ヴォツェック」「フィデリオ」「ニーベルングの指環」など、革新的な内容で注目を集めた。パリ国立オペラでは「アッシジの聖フランチェスコ」「ペレアスとメリザンド」「カーチャ・カバノヴァー」「皇帝ティートの慈悲」「三つのオレンジへの恋」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」「シモン・ボッカネグラ」「トロイアの人々」「ルイーズ」「椿姫」「アリアーヌと青ひげ」「ヴォツェック」など多くの演目を指揮している。
客演指揮者として、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、トーンハレ管、フィルハーモニア管、BBC響、ベルリン・ドイツ響、ミュンヘン・フィル、ウィーン響、パリ管、オスロ・フィル、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、モントリオール響など、世界一流のオーケストラと共演を重ねている。
想像力をかきたてるプログラミングを好むカンブルランは、個性豊かな企画で知られる。対照的だが関連性のある作品・作曲家を同時に取り上げることを得意とし、例えば、ハイドンとメシアン、ベルリオーズの「ファウストの劫罰」とシューマンの「ゲーテのファウストからの情景」などが挙げられる。また、最も大胆なプロジェクトの一つとして、メシアン三大作品「トゥーランガリラ交響曲」「彼方の閃光」「我らの主イエス・キリストの変容」の連続公演がある。
これまでに、エコー・クラシック「年間最優秀指揮者賞」、最優秀オーケストラ作品CDに贈られるドイツ・シャルプラッテン賞（ともに2009年）、SWR響とのメシアン作品のレコーディングでMIDEM最優秀現代音楽賞（2010）を受賞。また、2007年にレジオンドヌール勲章シュヴァリエ（5等）、2012年にドイツ連邦共和国功労勲章（2012）を授与された。

2020.1.17（金）

広島交響楽団
第396回
定期演奏会

広島文化学園HBGホール
18：45開演（17：45開場）

シュトイデ、ウィーン薫る「ベートーヴェン＆モーツァルト」

ウィーン・フィル第一コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデとの「指揮者なし企画」も今回で6回目を迎えます。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年最初の定期として、またベートーヴェン生誕250周年を迎える新年を「ロマンス」第2番の極上の音色で祝福します。そして、ミュージック・パートナーとしての粋な計らいとして、広響首席ヴィオラ奏者の安保恵麻とモーツァルトの傑作、ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲を演奏するという素敵なプレゼントも。最後はこれまで培ってきた究極アンサンブルによる交響曲演奏としてモーツァルトの最高峰「ジュピター」をお届けします。

ベートーヴェン：ロマンス第2番ヘ長調
Beethoven：Romance No.2 in F major Op.50

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調
Mozart：Sinfonia Concertante for Violin and Viola in E-flat major K.364

モーツァルト：交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
Mozart：Symphony No.41 in C major K.551"Jupiter"

ヴァイオリン&コンサートマスター／フォルクハルト・シュトイデ
Violin & Concertmaster : Volkhard Steude

©井村 重人
ヴィオラ／安保 恵麻
Viola : Ema Ambo

あなただけのマイシート

2019年度
後期定期会員募集のご案内
定期全3回公演
S席／12,500円　A席／11,500円　B席／10,500円
お申し込みは広響事務局までお電話ください。（受付期間 2019年9月17日～2020年1月16日）